



青年海外協力隊 シニアボランティア
2016年度 2次隊 卓球隊員 西岡 昌彦

・パレード その1

トンガでは「娯楽」というものがほぼないとお伝えしてきました。昔、首都ヌクアロファに1件だけあった映画館も2006年に起きた暴動により壊されてしまったと聞いています。

娯乐的なものはレンタルDVDを自宅で観賞したり、最近では携帯電話でゲームをしている若者を見かけますが、せいぜいその程度です。娯乐的要素の少ないトンガですが、何かの記念日やお祭りなどの際にはパレードが行われ大変盛り上がります。2017年2月に首都中心部のメインストリートに面した場所に転居後は、ほぼすべてのパレードが自宅前を通過するため、毎回それを見ることができました。場合によってはかなりの騒音となり閉口することもありましたが一番トンガらしい光景を特等席で眺めることができ、大変幸運でした。

今回はパレードについて、そして民族衣装の紹介も含め、2回に渡り紹介します。



1、パレード開催の情報収集

パレードは毎年決まった時期に行われるものもあれば不定期の場合もあります。

トンガで私はテレビ・ラジオのない生活をしているためパレードの情報は得にくい状況です。しかし自宅が首都中心部メインストリートに面しているという立地条件の良さから「普段とは異なる雰囲気」によりパレードの開催



👉 自宅前を大行進

を察知しています。規模の大小にもよりますが、開催が近くなると近所の学校からブラスバンドの練習音が聞こえだし、グラウンドで行進の練習を見たりします。ラグビー関係の場合は数日前から国旗を付けた車が大量の音楽を流しながらメインストリートを走り出すので「これはそろそろ何かあるな」とパレードの前兆を感じます。

パレードによっては朝から自宅前の人通りが多くなり、先導するブラスバンドの音が聞こえ始め、それと気付きます。

開始時間はまちまちですが、ブラスバンドの音が近づいてくるのに気付いてからカメラを持って外に出ても充分間に合う場所に自宅はあります。

パレードの規模が大きい場合はメインストリートの要所で警察官による交通規制も行われます。



👉 女性警察官によるメインストリートの交通規制

2、パレードの規模

パレードはブラスバンドだけの場合、それに人による行進が加わる場合、さらに車両を含む場合があります、小～大まで規模は毎回異なります。

毎年5月末か6月初め、国会開催初日に記念のパレードが行われ、今年の参加者は 10,000人だったと聞いています。ちなみにトンガ本島の人口は 65,000人です。



👉 この日は学校単位で行進、トンガでは学校ごとに制服があります。

左は警察のブラスバンドが後方の一団を先導する小規模なパレード。

時期と衣装から推察すると大学生の卒業記念パレードかと思います。



上と左の画像はヘイララ祭というお祭りのパレードです。ブラスバンドをはさんで車両による行列が中心で、交通規制も行われました。

なおトンガではトラックの荷台に人が乗っても OK です。

パレードの際は大活躍ですが日常的に目にする光景です。

👉 ブラスバンド後方の車列

下の画像は昨年 6/1 国会開催日に行われた10,000人規模のパレード参加者の一部です。市内の各所に待機場所が設けられブラスバンドを先頭に次々と行進が行われる様子は圧巻でした。



👉 待機中のブラスバンドとパレード参加者



👉 自宅の隣、バシリカ教会の駐車場でパレードの出番を待つ高校生たち。教会のバルコニーから撮影。

3、民族衣装

パレードには男女ともトンガの正装姿の参加者が多いので、ここでは衣装の紹介をします。



👉 女子高生全員がスカートの上に付けている 太い縄のれん状のものが女性用の民族衣装「キエキエ」 👉



👉 後方の一団がトンガの正装姿、男女ともに腰に巻いているゴザのようなものが「タオバラ」、男性も「トゥペヌ」という巻きスカートを着用しています。